

## 新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（函館工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
対面授業実施が難しい状況においては、遠隔授業を実施した。	<a href="#">C-1-01 「R2.04.10 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための休校期間の変更及び遠隔授業の実施について」</a> <a href="#">C-1-02 「R2.04.27 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための通常授業中止期間の延長及び遠隔授業の実施について」</a> <a href="#">C-1-03 「R3.05.18 緊急事態宣言期間中の本校の対応について」</a> <a href="#">C-1-04 「R3.05.28 緊急事態宣言延長に伴う本校の対応について」</a> <a href="#">C-1-05 「R3.08.27 緊急事態宣言への本校の対応について」</a> <a href="#">C-1-06 「R3.09.13 緊急事態宣言延長に伴う本校の対応について」</a>
遠隔では実施が困難な授業（実験・実習等科目、製図等科目）について、開講期を変更した。	<a href="#">C-1-07 「授業時間割の変更」</a> C-1-08_（非公表）「授業の開講期の変更について」
「学外実習」（本科4年）及び「インターンシップ」（専攻科1年）の科目については、感染症の影響により必要な実習日数を満たすことが困難であることが想定されたため、年度を跨いでの実習実施が可能となるよう整理した。	C-1-09_（非公表）「令和2年度第4回執行会議議事要旨_学外実習・インターンシップについて」 C-1-10_（非公表）「学外実習の取扱いについて」
遠隔授業のためのスタジオを整備した。	C-1-11_（非公表）「遠隔授業用スタジオの設置」
実験・実習科目においては、ポストコロナ時代の新しい生活様式を見据え、高専機構モデルコアカリキュラムにおける到達レベルを「実験スキル体験」型から「データ解釈」、「適切な手段を選択できる」といった上位概念へのシフト検討を進めた。	C-1-12_（非公表）「「新しい生活様式」を見据えた実験・実習科目の考え方」
対面授業実施期間においても、渡日・再来日が困難な留学生や移動による感染への不安を抱く学生に対し、代替の授業方法を提示した。	C-1-13_（非公表）「対面授業再開後の対応について」
多様な授業の方法とそれを出席として取り扱うための指針を制定した。	C-1-14_（非公表）「多様な授業の方法とそれを出席として取り扱うための指針」

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
遠隔授業期間においてもオンライン相談窓口を設置し、学生や保護者等からの相談対応を行った。（学生生活面、健康面、経済的支援等）	<a href="#">C-2-01 「オンライン相談窓口の設置」</a>

遠隔授業での学習のため、通信環境が不十分な学生に対し、モバイルルーターの貸与やパソコン等端末の貸与を行った。	C-2-02_ (非公表) 「遠隔授業受講のための環境整備 (モバイルルーター貸与) について」
家計困窮度の高い学生 (授業料減免者や各種奨学金受給者等) を対象に、遠隔授業用の通信費等、学校生活を送るための生活費の一部を支援する取組みを、自己財源 (教育研究支援基金) による現金支給にて行った。(日本学生支援機構による新型コロナウイルス感染症対策助成事業補助金も活用)	C-2-03_ (非公表) 「「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」における学生の経済的支援の取組について」
スクーリング (分散登校) の実施により遠方在住学生には交通費の負担が大きくなることが想定されたため、自己財源 (教育研究支援基金) から一部補助を行った。 また、スクーリング期間においては、1年生の外部施設宿泊費及び2年生以上の寮費について、自己財源 (教育研究支援基金) から支出を行った。	C-2-04_ (非公表) 「スクーリング時の交通費・宿泊費支援」

3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ (提出は任意)
寮生各自による検温を日課とし、1日2回 (朝・夜) に検温指示放送をおこなった。	C-3-01 <a href="#">「新型コロナウイルス感染症対策指針第1版」</a> (P.22、26)
廊下や共同利用設備に消毒液や除菌用ウェットティッシュの配置を行った。	C-3-01 <a href="#">「新型コロナウイルス感染症対策指針第1版」</a> (P.22、26)
食堂における密を避けるため、学年による利用時間の分割や、座席をスクール形式の配置へ変更した。 また、「食堂の利用方法」を定めた。	C-3-01 <a href="#">「新型コロナウイルス感染症対策指針第1版」</a> (P.22、26、27)
入浴時における密を避けるため、学年毎の時間交代制とした。 また、「風呂場の分散利用について」を定めた。	C-3-01 <a href="#">「新型コロナウイルス感染症対策指針第1版」</a> (P.22、26、28)
体調不良者を隔離するための安静ゾーンを設けた。また、病院受診やPCR検査受検が必要な際に、タクシー会社による送迎が可能であることを確認した。	

4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ (提出は任意)
本校の緊急時対応指針 (BCP) に沿った制限を行った。	C-4-01_ (非公表) 「緊急時対応指針」
対外試合参加等における学内基本方針 (体調管理、共用用具の消毒、競技・アップ以外でのマスク着用) を定め、運用を行った。また、本方針のチェックシートを作成し、提出を求めた。	C-4-02_ (非公表) 「対外試合参加等における学内基本方針」 C-4-03_ (非公表) 「対外試合参加等における学内基本方針チェックシート」

<p>緊急事態宣言下において開催された高体連全道大会（6月）への参加にあたり、大会参加前後における確認事項（PCR検査受診，体調チェック実施，保護者同意等）を定め，運用を行った。</p>	<p>C-4-04_（非公表）「高体連全道大会参加にあたっての確認事項について」</p>
---	--

5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。

<p>回答欄</p>	<p>根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）</p>
<p>遠隔授業に関する学生アンケート調査結果を分析するとともに、教育の質向上に向けた教員研修会を開催した。</p>	<p>C-5-01_（非公表）「令和2年度第1回教員研修会について」</p>